

令和元年第11回水俣市教育委員会定例会会議録

開催日	令和元年11月15日(金)		
場所	水俣市公民館分館 1階 会議室C		
会議種類	定例会		
出席委員	平尾 雅述	委員	
	堀 浄信	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
教育長	小島 泰治		
欠席委員	無		
事務局出席者	岩井 浩昭	教育総務課長	
	島田 竜守	生涯学習課長	
	緒方 卓也	スポーツ振興課長	
	中村 和宏	指導主事	
	小路 幹雄	教育総務課総務係長	
	白坂 優季	教育総務課総務係参事	
署名者	平尾 雅述	委員	
	堀 浄信	委員	
	山田 誠次	委員	
	本田 恵津子	委員	
	小島 泰治	教育長	
傍聴者	無		
開会宣言	午後1時30分		
<p>1 非公開とする審議事項</p> <p>1) 協議第2号を非公開とすることについて 教育総務課</p> <p>2 報告</p> <p>1) 教育長報告</p> <p>2) 各課報告</p> <p>① 第15回NIE公開セミナーに係る後援承認について 教育総務課</p> <p>② 市制施行70周年記念第40回市民スポーツ祭りについて スポーツ振興課</p> <p>3 議事</p> <p>1) 審議事項</p> <p>なし</p> <p>2) 協議事項</p> <p>① 令和元年12月の教育委員会定例会の開催日程について 教育総務課</p> <p>② 学校教育活動の現状について 教育総務課</p>			

4 その他

- | | | |
|----|-------------------------------------|---------|
| 1) | 12月の行事予定について | 教育総務課 |
| 2) | 女子ハンドボール世界選手権大会 モンテネグロ代表の事前キャンプについて | スポーツ振興課 |

非公開とする審議事項

【案件】	協議第2号を非公開とすることについて
【説明】 岩井 浩昭 教育総務課長	個人情報等を含むため、協議第2号は非公開を提案します。
各委員	はい。
【採決】	承認
報告事項	
教育長報告 小島泰治教育長	<p>今回は、3点報告します。1点目は、市民スポーツ祭りについてです。10月27日（日）、市民体育祭を市民スポーツ祭りとして、今年度初めて屋内で実施しました。私としては、課題もいくつかありますが、天候に左右されない、選手が集まりやすい、競技者と応援者が近く一体感がある、準備が楽であるなどの理由により屋内が良いのかなと思ったところです。来年度以降のことについてなど、詳しくは、スポーツ振興課長から説明します。</p> <p>2点目は、中学校駅伝競走大会についてです。11月8日（金）熊本県中学校駅伝競走大会が天草市でありました。水俣市からは、芦北・水俣大会で2位に入賞した水俣一中男子が出場しました。地区大会だけの記録から言えば、出場校28チーム中23番目の記録でしたが、当日は、大健闘し16位に入ることができました。しかも、芦北・水俣大会優勝の田浦中学校にも勝つことができました。ちなみに田浦中学校は、水俣一中と9秒差の19位でした。</p> <p>3点目は、市小中学校音楽会についてです。11月13日、午前中に小学校、午後に中学校を実施しました。午前中の小学校の部では、各学校規模に応じて工夫した発表になっていました。湯出小の七滝太鼓や水東小の餅つき踊りなど地域の方の協力による出し物もありました。どの学校の児童も真剣に発表しており、素晴らしいものとなっていました。午後の中学校の部では、中学生の音量に圧倒されました。どの学校も素晴らしい出来でしたが、中学校を経験したものとして、ここに来るまでにいろいろなドラマがあったのだろうな、それを乗り越えての今日なのだろうなと想像して胸が熱くなりました。本当に先生方のご指導に感謝したいと思います。秋の一日心が豊かになったところです。</p>
各課報告	
報告第1号	第15回NIE公開セミナーに係る後援承認について

岩井 浩昭 教育総務課長	(別紙資料をもとに説明) 熊本県N I E推進協議会から申請があったものです。協議会の構成には熊本県教育委員会、熊本県中学校長会、熊本県小学校長会も入っており、事務局は熊本日日新聞社にあります。今年度は県内で袋小学校を含め、4つの小中高校が実践校の指定を受けています。今回の申請は袋小学校の分です。水俣市教育委員会共催、協賛、後援及び推薦取扱要領の報道機関が行うものに該当し、また早期にセミナーの要項等を作成する必要がありましたので、教育長の臨時代理事項としてすでに後援の承認を行っていますので報告します。
報告第2号	市制施行70周年記念第40回市民スポーツ祭りについて
緒方 卓也 スポーツ振興課長	(別紙資料をもとに説明) 市民スポーツ祭りは大変お世話になりました。結果は資料のとおりです。屋内開催ということで、これまであまり上位にならなかった区が上位になったり、参加しやすくなったということで、これまで5年くらい出ていなかった2区にも出場していただきました。来年度については、各チームのアンケート結果が17チームから出たのですが、8チームが屋内を希望、5チームがエコパーク、残り4チームがその他となっています。その他の内訳は、3チームは交互開催、残り1チームは塩浜グラウンドでの開催を希望となっていました。これについては、また実行委員会で検討し、今年度中には開催日と場所については決めたいと思っています。
本田 恵津子委員	トイレの利用はスムーズでしたか。スリッパへの履き替えはしていたのでしょうか。
緒方 卓也 スポーツ振興課長	スリッパへの履き替えはしていない人も多かったみたいです。シューズごと履けるスリッパもあると聞いたのでそういうものもいいかと思いました。
本田 恵津子委員	シルバー人材センターの掃除をされる方は当日、出てきていたのですか。
緒方 卓也 スポーツ振興課長	出てきていました。
議事	
審議事項	
小島泰治教育長	今回、審議事項はありません。
協議事項	
協議第1号	令和元年12月の教育委員会定例会の開催日程について
岩井 浩昭 教育総務課長	12月20日(金)、午後1時半から公民館分館1階会議室Cで開催を考えています。
各委員	了承
協議第2号	学校教育活動の現状について
中村和宏指導主事	(報告の概要) ①10月の小中学校長期欠席児童生徒報告について ②10月の児童生徒事故・非行報告について

	③その他の報告について
	非公開
堀 浄信委員	不登校の問題についてですが、以前にも話をしましたが、不登校を出さないと宣言してしまうと、学校に行きたくても行けない子どもや保護者はもちろん、先生方も職員室の中で「不登校の子どもや親はけしからん。甘えだ。」という言葉聞くのは心が痛いと話す先生もいるようです。先生方も自分のクラスから不登校を出したら、自分のせいだと思って、メンタル的にもつらくなるのだらうと思います。不登校は甘えだ、怠けだという考えが根深いのだと思います。おそらくSSWは甘えだとは捉えていないと思います。校長先生が率先して、子どもの状況に応じた個別対応の視点を持たないといけないと思います。不登校を減らすことも大事ですが、その子の人生を考えたとき、どうしたらその子が卒業後によりよい人生を送れるかという視点がないと解決にはならないと思います。文科省も不登校は甘えとは捉えないと言っていますので、不登校をどう捉えるのかという統一感がほしいと思います。問題提起としてこの話をさせていただきました。
山田 誠次委員	難しい問題だと思います。学校が全て背負う、学校の問題とだけ捉えていては、先へは進まないと思います。学校は、学校へ行きたくなるようなクラスづくり、雰囲気づくり、声掛け、いろいろ対応をされているが、子どもたちの状況は一人一人違って、家庭の状況や生育の過程がいろいろあるうえで、クラスのほうに原因があることもあります。それよりも個々の子どもたちの生活面で抱えている問題も大きいのかと思います。学校がなんとかするという世の中の意識を変えて、社会全体の問題として捉えて、いろいろな方面からの支援とか、本格的に取り組んでいくことが始まらないと難しいと思います。先生たちだけが背負うのは大変だし、そこだけでは解決できない部分もたくさんあると思います。対症的に、うちのクラスにいる間だけでも来てもらって、という対応を続けていても根本治癒には繋がらず、逆に問題が先送りになることで複雑化・深刻化するかもしれません。対症療法をしながらも根本治癒も進めていくことが、これから必要になってくると思います。
平尾 雅述委員	先生方はすごく多忙で、いろいろなことが重なり、ストレスになっています。学校側も熱心に対応してもらっていますが、いろいろな機関と協力してやるということが今のスタンスなので、学校がなんでもできるというわけではないことは理解してもらいつつ、SSWを活用しながら改善に向けてやっていく必要があると思います。
本田 恵津子委員	いじめから始まって不登校になったが、スクールカウンセラーのアドバイスで病院受診し、病気の診断がおりた子がいました。病気と分かるまで親は悩まれたと思いますし、担任の先生も心配されていたと思います。家庭と学校のコミュニケーションはどうだったのかと思います。スクールカウンセラーのアドバイスでようやく出口が見えたのかと思うので、スクールカウンセラーの役割は大きいと思います。先生、家庭だけで悩まず、三者で協力することで、子どもが学校生活に戻ったり、別の道を歩んだり早く解決できればいいと思います。
小島泰治教育長	校長先生の立場から考えると、不登校は出したいくないという思いはどうしてもあると思います。ただ、不登校という選択肢も当然あるわけで、そこは認めるべきで、堀委員がよく言われるように、不登校は悪ではない、ということがなかなか分かってもらえていないのかと思います。不登校の数を考えるのではなく、一人の子どもを将来に向けてどう育てていくかを考えていくべきで、そういう点を教育委員会としても提議をしていかないといけないのかと思います。不登校はいけないという価値観や、校長先生、担任の先生の不

	登校は出してはいけないという思いを変えていくのは労力がいると思いますが、不登校という選択はだめだ、不登校は悪だという考えは粘り強く払拭していく必要があると思います。
堀 浄信委員	S S Wは3人いますが、以前も提案しましたが、教育委員会としてこういう風にしていくという方向性や、学校の現状を含めて、話を一緒にさせてもらえる懇談の場を用意していただければと思います。
小島泰治教育長	3人の都合が合えば、定例の教育委員会の日でも可能だと思うので検討します。
平尾 雅述委員	ここにも子ども自立支援室がありますが、先日、環境センターに八代にあるくま川教室が来られたのですが、小学生の時に環境学習も受けていないし、外での校外学習も受けさせたいので見学に連れてきていいかと話がありました。当日は、私が担当したのですが、すごく熱心に話を聞いてくれたし、感想もたくさん話してくれました。帰りはあしきた青少年の家に行くとのことで、いろいろなところで触れ合うということもいいのかと思いました。予算もあって大変かと思うがそういう方法もあるのかなと思いました。
堀 浄信委員	不登校の子には作業がとても大事らしく、勉強することももちろん大事ですが、感情が固まってしまって出せなくなっているそうです。遊びとか体験授業をする中で、感情を出すこと、自分が今思ったことを出せるようになるには、そういう作業が大事らしく、環境センターはその意味で適しているのではないかと話を聞きながら思ったところです。
小島泰治教育長	水俣の子ども自立支援室も、社会科見学に行っていますよね。
中村和宏指導主事	はい、社会体験旅行ということで毎年12月にバスを貸し切って行っています。今年は熊本市方面でNHKとかを見学予定です。
山田 誠次委員	不登校とかは、子どもの内面がその形に表れているということをしっかり捉えて、子どもたちの内面を理解できるようにみんなが関わっていくことが大事だと思います。
その他	
その他1	12月の行事予定について
岩井 浩昭 教育総務課長	【資料に基づき説明】
その他2	女子ハンドボール世界選手権大会モンテネグロ代表の事前キャンプについて
緒方 卓也 スポーツ振興課長	今月30日から女子ハンドボール世界選手権が開幕しますが、事前キャンプとして、11月23日から29日まで水俣市にモンテネグロがやってきます。総合体育館を中心に練習を行い本番に臨みます。市内の子どもたちは試合の見学にも行きます。
閉会宣言	午後2時15分

